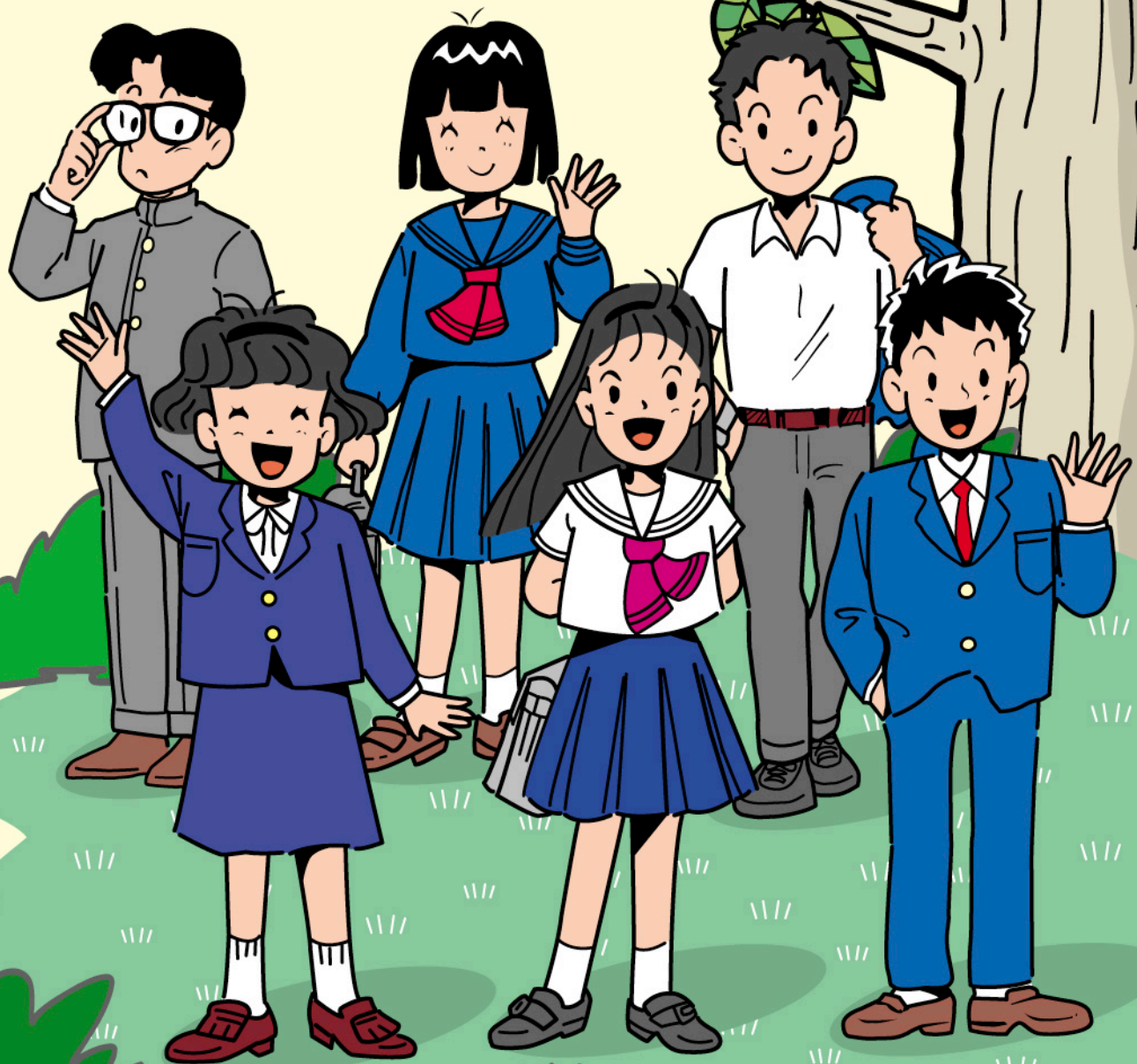


魅力と活力ある 県立高校を目指して

県立高等学校再編基本計画の概要（平成17年度～26年度）

前期実行計画の概要（平成17年度～21年度）

後期実行計画の概要（平成22年度～26年度）



平成21年4月
栃木県教育委員会

県立高校再編基本計画の概要

■平成17年度から26年度までの10か年計画

◇ 高校再編の基本的な考え方

◆ 高校教育を取り巻く社会状況

- ・ 少子高齢社会、人口減少時代の到来
 - ・ 価値観の多様化
 - ・ 高度情報化の進展
 - ・ 国際化、グローバル化の進展
- など

◆ 県立高校の現状と課題

- ・ 生徒数の減少への対応
 - ・ 生徒の多様化への対応
 - ・ 産業界等社会のニーズへの対応
- など

◆ 新しい県立高校のあり方

21 世紀の新しい社会を築き支える自立した人づくり

- (1) 学習の基礎・基本や自ら学ぶ意欲・態度を身に付け、生涯にわたって「学ぶ力」あふれる人を育成します。
- (2) しっかりとした職業観・勤労観をもち、自己の個性を理解し、将来の職業生活を展望できる人を育成します。
- (3) 社会の一員としての自覚と自己責任の心構えを身に付け、積極的に社会に貢献しようとする人を育成します。
- (4) 国際的な視野をもち、柔軟性と創造性に富み、チャレンジ精神を備えた次代のリーダーを育成します。

生徒一人ひとりの能力を最大限に引き出す多様で柔軟な県立学校づくり

- (5) 生徒一人ひとりの興味・関心や能力・適性に対応できる様々なタイプの学校づくりを推進します。
- (6) 切磋琢磨を通して、生徒一人ひとりが資質・能力を最大限に伸ばせる学校づくりを推進します。
- (7) 意欲のある人がいつでも高校教育を受けられるやり直しのきく学校づくりを推進します。

透 明性が高く県民に信頼される学校運営のしくみづくり

- (8) 各学校が果たす役割や育成する生徒像を明らかにし、責任をもって説明する、県民に分かりやすい学校運営を推進します。
- (9) 校長のリーダーシップの下、教職員が一体となって学校運営に当たるしくみづくりを推進します。
- (10) 地域社会の教育力を活用するなど社会との連携を深め、県民に開かれた学校運営を推進します。

県立高等学校再編前期実行計画の概要

■平成17年度から21年度までの5か年計画

◇ 新しいタイプの学校の設置

学校種	H17	H18	H19	H20	H21
中高一貫教育校			宇都宮東高	佐野高	
総合学科高校		小山城南高			
科学技術高校	宇都宮工高（前期計画期間中に施設の整備に着手）				
総合産業高校					小山北桜高
総合選択制高校		高根沢商高 →高根沢高	{ 足利西高 足利商高 →足利清風高		{ 栗野高 鹿沼農高 →鹿沼南高
フレックス・ハイスクール	学悠館高				

◇ 男女共学化の推進

項目	H17	H18	H19	H20	H21
男女共学		小山城南高 小山高(普)	足利西高 (足利商高と統合)	{ 烏山高 烏山女子高	

◇ 全日制高校の規模と配置の適正化

項目	H17	H18	H19	H20	H21
学校の統合	{ 足尾高 日光高* →日光明峰高 { 芳賀高 益子高* →益子芳星高	{ 藤岡高 栃木南高* →栃木翔南高 { 喜連川高 氏家高* →さくら清修高	{ 足利西高 足利商高* →足利清風高	{ 烏山高* 烏山女子高* →烏山高	{ 栗野高 鹿沼農高* →鹿沼南高

*の校舎等を使用する

◇ 定時制・通信制高校の規模と配置の適正化

項目	H17	H18	H19	H20	H21
定時制高校 (栃木市に設置した 学悠館高に統合)		{ 小山高 栃木高 佐野高 足利高			
通信制高校 (学悠館高に定員の 一部を移設)	宇都宮高 (定員1,200名 のうち400名 を移設)				

県立高等学校再編後期実行計画の概要

■平成22年度から26年度までの5か年計画

◇ 新しいタイプの学校の設置

学校種	H22	H23	H24	H25	H26
中高一貫教育校			矢板東高		
総合学科高校				黒磯南高	
科学技術高校		宇都宮工高			
フレックス・ハイスクール	県央以北：再編計画期間中に施設の整備に着手				

◇ 男女共学化の推進

項目	H22	H23	H24	H25	H26
男女共学	宇都宮東高	佐野高 佐野女子高			

※宇都宮東高(H22)、佐野高(H23)は、中高一貫教育校の中学生が高校に進学する年度に共学化する。

◇ 全日制高校の規模と配置の適正化

項目	H22	H23	H24	H25	H26
学校の統合		{ 田沼高 { 佐野松陽高* { 塩谷高 { 矢板高*			

*の校舎等を主に使用する。

県立高等学校数の推移

◇ 前期計画開始前(H16年度)と後期計画終了時(H26年度)との比較

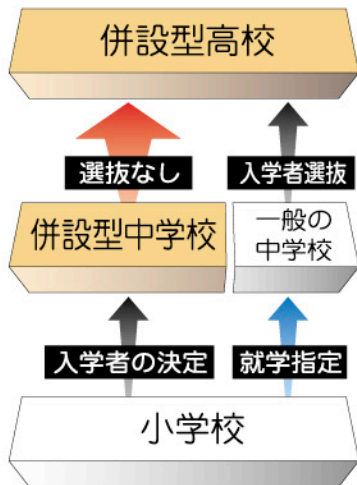
項目		H16	H26
課程	全日制高校	68	59
	定時制高校	11	8*
	通信制高校	1	2*
男女共学、別学	共学	50	48
	男子校	8	5
	女子校	10	6
新しいタイプ	中高一貫教育校	—	3
	総合学科高校	4	6
	科学技術高校	—	1
	総合産業高校	—	1
	総合選択制高校	—	3
フレックス・ハイスクール	—	1	

*全日制と定時制の併置校7校、全日制と通信制の併置校1校、定時制と通信制の併置校1校がある。

新しいタイプの学校

を設置します

中高一貫教育校



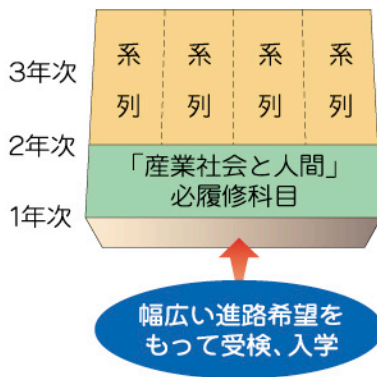
中学と高校を接続し、6年間の計画的・継続的な教育を行います。

- ◇21世紀の本県を支え、我が国、さらには国際社会の発展にも貢献できる創造力やリーダーシップに富んだ人材を育成します。
- ◇中高一貫教育を導入した高校の校舎を利用して、県立中学校を設置します。
- ◇学区は中学校、高校ともに県内全域とします。
- ◇併設型中学校からは、選抜なしで併設型高校に進学します。併設型高校では、併設型中学校以外からも入学できるように、高校入試においても生徒を募集します。

前期計画対象校	宇都宮東高 (H19) 佐野高 (H20)
後期計画対象校	矢板東高 (H24)



総合学科高校

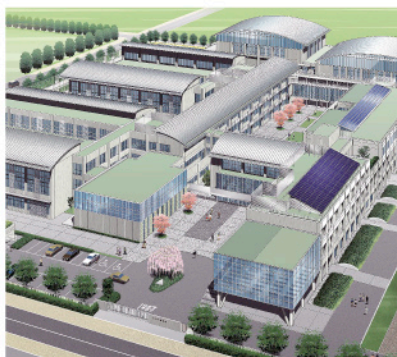


普通科目及び専門科目の中から、進路目的等に応じて科目を選択して学びます。

- ◇1年次に進路・自己理解を深めた後、2年次からは幅広く開設された科目から自己の適性や進路目的に応じ科目を選択し学習します。
- ◇^{ひつ}必履修科目以外は自由に選択できます。系列は科目選択の目安です。
- ◇母体となる高校の特徴を生かした系列を設定するなどして、特色化を図ります。

前期計画対象校	小山城南高 (H18)
後期計画対象校	黒磯南高 (H25)

科学技術高校



科学技術高校完成予想図

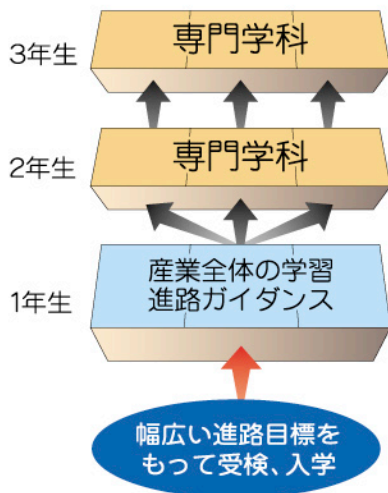
工業及び情報に関する高度な専門知識・技術について学び、大学等への進学にも対応します。

- ◇科学技術の高度化や情報通信社会の進展に対応し、「ものづくり県とちぎ」の将来を担う高度な技術力を持ったスペシャリストを育成します。
- ◇施設・設備を充実させるとともに、大学、企業や県の試験研究機関などと連携することにより先端技術・技能に関する学習機会を提供します。
- ◇より専門性を深めたい生徒に対し、大学等への継続教育を視野に入れた教育課程を整備します。

後期計画対象校	宇都宮工業高 (H23)
---------	--------------

総合産業高校

各産業分野について幅広く学ぶことができます。



◇生産から流通・消費までを一体として学び、一つの分野にとらわれない総合的な知識・技能をもった人材を育成します。

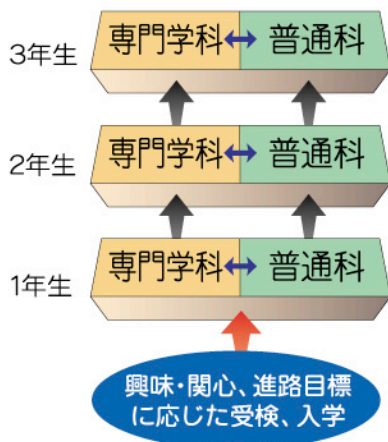
◇1年生は共通して産業活動全体を幅広く学び、その基礎知識・技能を身に付けるとともに、生徒が自己の職業適性や将来の進路を考えるためのガイダンスの期間とします。

◇2年生以降は、各専門学科又は類型に分かれ、専門性を深めていく期間とし、他学科の関連分野も選択履修できる柔軟な教育課程を導入します。

前期計画対象校 小山北桜高 (H21)

総合選択制高校

職業系専門学科と普通科を併置し、互いの教科を学びます。



◇普通科では、1・2年生で職業系専門科目を一部履修し、基礎知識の習得を図るとともに体験的・実践的な学習を行い、3年生では関心や進路目的に応じて専門科目を選択履修することも可能です。

◇職業系専門学科では、進路目的に応じて、2・3年生で普通系の科目を選択履修することも可能です。

前期計画対象校 高根沢高 (H18)
足利清風高 (H19)
鹿沼南高 (H21)

フレックス・ハイスクール

単位制による定時制・通信制の独立校です。定時制は昼夜間開講とします。



栃木市に設置した学悠館高

◇定時制課程では、生活に合わせて、午前・午後・夜間の3つの学習時間帯を選べます。

◇100以上の科目を開設し、多様な生徒の様々な学習ニーズに応えます。

◇自分の属する部（学習時間帯）以外の部や通信制の単位を併せて修得することにより、3年間での卒業も可能です。

◇生涯学習の観点から、社会人入学制度や科目履修制度を導入し、広く社会人に高校教育を提供します。

前期計画対象校 学悠館高 (H17)

後期計画対象校 県央以北への設置校（施設の整備に着手）

◇ 魅力ある県立高校づくり

◆ 各学校の特色化・個性化の推進

各学校は、学科の特長を生かして、それぞれが果たす役割や育成する生徒像を明らかにし、創意と工夫に富んだ教育活動により、特色化・個性化を推進します。



◆ 新しいタイプの学校の設置

中高一貫教育校

総合学科高校

科学技術高校

総合産業高校

総合選択制高校

フレックス・ハイスクール

◆ 男女共学化の推進

県立高校の男女別学校については、学校や地域の理解と協力を得ながら、共学化を推進します。



◇ 活力ある県立高校づくり

◆ 全日制高校の規模と配置の適正化

規模の適正化

1学級40人換算で、1学年当たり4学級から8学級を適正規模とします。

学校の統合

今後10年間の生徒の減少率、各学区毎の現状や今後の見通しなどを勘案し、15%程度の学校数を削減する統合を行います。

学科の構成と配置の適正化

募集定員に占める普通系学科と職業系専門学科の割合は、現在の7：3を概ね維持します。

◆ 定時制・通信制高校の規模と配置の適正化

定時制高校

統合を図りながら、原則として、フレックス・ハイスクールへと再編します。

通信制高校

段階的に、フレックス・ハイスクールに移設します。



◇ 関連する制度等の整備

学区制度の見直し

入学者選抜制度の改善

開かれた県立高校づくりの推進

教職員の人事管理制度の見直し

施設・設備の整備等

後期実行計画終了時（平成26年度）における県立高校の配置



県立高等学校再編基本計画及び前後期の実行計画の全文は、栃木県教育委員会ホームページでご覧いただけます。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/kyouiku/index0.html>

問い合わせ先

栃木県教育委員会事務局 総務課 高校再編推進班
〒320-8501 宇都宮市塙田1丁目1番20号 TEL 028-623-3364 FAX 028-623-3356